

安全な交差点へ！～利用者意識の変化をとらえた対策の効果評価～

- ・国道1号一本松西交差点(沼津市)では平成17～21年の5年間で追突による**死傷事故が27件**発生。
- ・交差点間隔が長く、沿道出入も少ない区間のため、**交差点への進入速度が速い**ことによる追突事故が多発。
- ・路面に小突起を設けて振動と音を発生する「**減速ベルト(薄層舗装)**」及び「**追突注意看板**」を設置し、運転者の注意喚起と減速を促進。
- ・**対策実施後、走行速度の低下、道路利用者の対策への意識が向上し、追突事故が減少。**

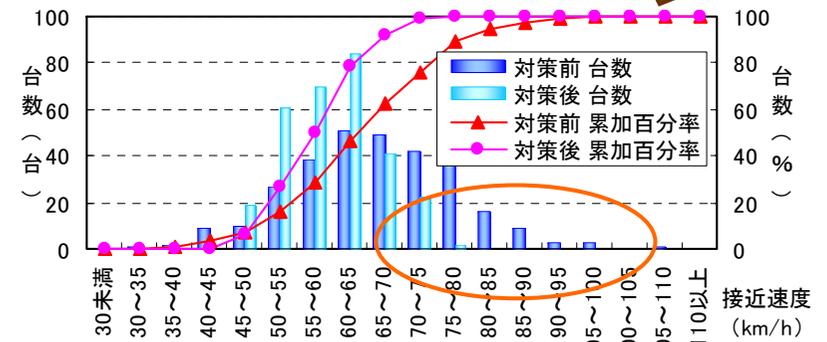
位置図



対策の効果

高い速度で交差点に接近する車両が減少

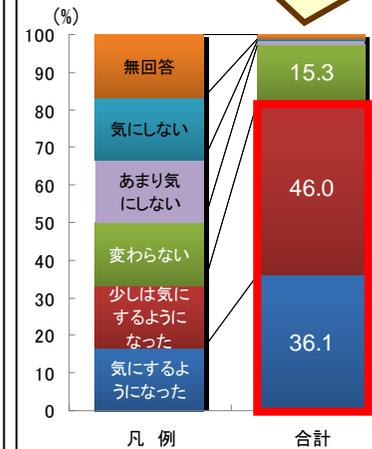
▲走行車両の走行速度分布



※事前: H21.10.26(月)、事後: H22.10.29(金) 8～11時までの3時間を対象に調査
 ※対象車両には信号の影響、特殊な挙動の車両を除く。

▲対策による速度に対する意識変化ヒアリング結果

対策により、約8割の道路利用者が「速度を気にするようになった」と回答

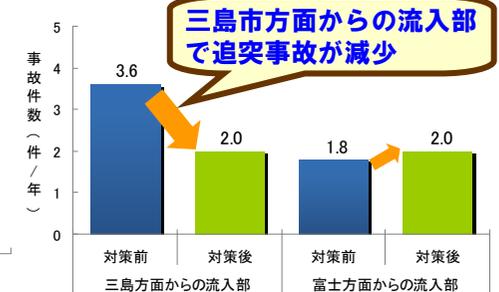


▲道路利用者聞き取り状況



※調査日: H23.2.7～2.8

▲対策前後の事故件数比較



三島市方面からの流入部で追突事故が減少

・対策前: 平成17～平成21年の平均
 ・対策後: 平成22年 (ITARDA事故データより)

対策の実施

至三島市 | 至富士市

減速ベルト(薄層舗装)
追突注意の看板
追突事故多発(18件)

追突注意の看板
追突事故多発(9件)

減速ベルト(薄層舗装)
減速路面標示(ドットライン)
「追突注意」路面標示を設置

▲追突注意の看板 ▲減速ベルト(薄層舗装)

※事故件数: 平成17年～平成21年の5年間